

家族支援要領が変わります

1 趣旨

陸海空自衛隊は、今年度から災害等発生時における隊員及び隊員家族の安否を確認するための「安否確認システム」を全部隊に導入しました。本システムは、大規模災害等発生時などで通信が不通となる状況でも優先的に通信を確保することができ、確実に安否確認が可能となります。

2 これまでの安否確認

隊員自身による電話連絡、現地において活動する隊員等からの情報提供、関係部外団体による隊員宅訪問等により確認

3 これからの安否確認（システム導入後）

災害等発生時に自動又は部隊等担当者が手動によりシステムに登録した隊員及び隊員家族に対して、安否確認メールを送信。

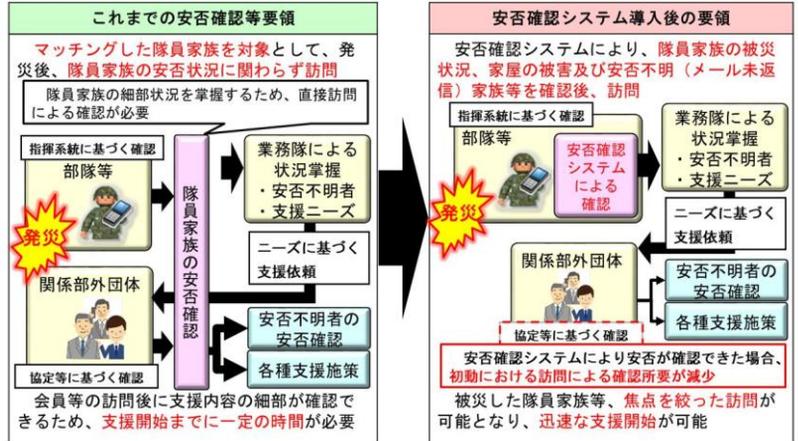
メールを受信した隊員及び隊員家族は、メールに対して自身の安否を回答することで、部隊等はその安否を速やかに確認・掌握。

このため、関係部隊団体等の自宅訪問等の負担を軽減することが可能

※ 陸幕厚生課 家族支援班からの情報

※ 令和6年2月15日付「隊友」新聞に掲載されています

今後の安否確認の方向性



入隊・入校予定者激励会に参加

令和6年3月9日（土）11時から宇部市男女共同参画センター3階大ホールにおいて、「令和5年度 宇部市自衛隊入隊・入校予定者激励会」に隊友会から3名が参加しました。この入隊・入校激励会は山口県家族会宇部支部が主催でコロナウイルスの感染が蔓延中においても、マスク、手洗い、殺菌等の処置を採り、中断することなく継続して実施されていました。

激励会では、家族会の前田支部長からユーモア溢れる主催者式辞の後、宇部市長 篠崎圭二氏、参議院議員 江島潔氏、衆議院議員 高村正大氏による来賓祝辞を頂きました。来賓祝辞では昨今の日本を取り巻く安全保障環境が過去にないほど厳しい状況に置かれていること、自衛隊は日本の独立と平和を守る崇高な任務を有していること、元旦に発生した能登半島地震においては休暇返上で自衛官が現場に急行し、被災者の安全・安心を図ったことなど紹介し、入隊・入校予定者を激励しました。

また、陸海空の現役自衛官、防大の入校者による激励DVDでは、不安を払拭する内容のメッセージが放映されたほか、先輩自衛官で芸人の「やすこ」も入隊・入校を力強く後押しした。最後に、入隊・入校予定者とそのご家族、来賓による記念撮影が行われ閉会となった。

なお、今年の入隊・入校予定者は19名で、最近では最も多い入隊者数となった。



祝辞を述べられる宇部市長 篠崎氏



式の直前の様子



全員が勢揃いした記念撮影